

Subject: HP に掲載 ETV 特集 11 月 7 日 23 時「それはホロコーストのリハーサルだった」

みなさま

ナチスドイツ下で繰り返された「T4 作戦」問題についての番組
ETV 特集（11 月 7 日 23 時から）がホームページにアップされました。

<http://www.nhk.or.jp/etv21c/>

600 万人以上のユダヤ人犠牲者を出し、「人類史上、最大の悲劇」として語り継がれてきたナチス・ドイツによるホロコースト。しかし、ユダヤ人大虐殺の前段に、いわば“リハーサル”として、およそ 20 万人ものドイツ人の精神障害者や知的障害者、回復の見込みがないとされた病人たちがガス室などで殺害されたことについては、表だって語られてこなかった。終戦から 70 年もの年月がたった今、ようやく事実に向き合う動きが始まっている。きっかけの一つは 5 年前、ドイツ精神医学精神療法神経学会が長年の沈黙を破り、過去に患者の殺害に大きく関わったとして謝罪したこと。学会は事実究明のために専門家を入れた国際委員会を設置、いかにして医師たちが“自発的に”殺人に関わるようになったのかななどを報告書にまとめ、この秋発表する。

番組では、こうした暗い歴史を背負う現場を、日本の障害者運動をリードしてきた藤井克徳さん（自身は視覚障害）が訪ねる。ホロコーストの“リハーサル”はどのように起きたのか、そして止めようとする人たちはいなかったのか・・・。
資料や遺族の証言などから、時空を超えていま、問いかけられていることを考える。

語り：大竹しのぶ
（内容 59 分）

J D 荒木

**

[以下、30 日のメールです。]

藤井 JD 代表がドイツを訪れ調査取材を行い、ナチスドイツ下で繰り広げられた「T4 作戦」問題について、NHKの ETV 特集として放送されます。

放送日時は、11 月 7 日（土）23 時から 24 時までです（59 分間）。

タイトルは、「それはホロコーストのリハーサルだった」です。

今回の番組は、藤井代表の 5 月と 7 月の二度の訪独に NHK のスタッフ
が同行し、ここでの調査やインタビューをもとにまとめたものです。

すでに 8 月から 9 月にかけて 3 回放送されていますが（ハートネット TV にて）、
今回の ETV 特集は総集編としての意味に加えて、取材した中での未放送部分や
追加取材を盛り込むなど、新たな構成になっています。

「戦後 70 年」も余すところ 2 か月となりましたが、障害分野関係者のみならず
社会全体としても「戦争と障害者」のテーマに向き合う機会になればと思います。

ETV 特集は HP でのアップはまだですが、ハートネット TV のブログに
アップされています。

<http://www.nhk.or.jp/hearttv-blog/3500/230061.html>

*なお、8 月の 2 回の放送は、放送批評懇談会のギャラクシー賞（月間）に
選ばれたそうです。

<http://www.houkon.jp/galaxy/gekkan.html>